■ 第32回日本DDS学会学術集会において優秀発表賞を受賞

賞　状

第３２回日本ＤＤＳ学会学術集会
優秀発表賞

京都薬科大学
竹村 友希 殿

「生理活性ペプチドCPN-116の脳内送達」

貴殿の発表は第３２回日本ＤＤＳ学会学術集会優秀発表賞（口頭発表の部）に選ばれました
その功績を称え、今後の研究のご発展を祈念して表彰いたします

平成28年7月1日
第３２回日本ＤＤＳ学会学術集会
大会長 奥 直人

2016年6月30日・7月1日に静岡で開催された第32回日本DDS学会学術集会において、薬剤学分野6年次生の竹村友希さんが優秀発表賞を受賞しました。

演　題：鼻腔内投与による生理活性ペプチドCPN-116の脳内送達
演　者：竹村 友希、田中 晶子、武田 康嗣[1]、高山 健太郎[1]、古林 呂之[2]、草森 浩輔、勝見 英正、坂根 稔康、林 良雄[1]、山本 昌
（1 東京薬科大学、2 就実大学）

■ 次世代を担う創薬・医療薬理シンポジウム2016において Young Investigator Awardを受賞

Young Investigator Award

河西 翔平 殿

あなたは「次世代を担う創薬・医療薬理シンポジウム2016」において、極めて優れたリ研究表を行いました。
ここにその業績を讃え、研究の益々の発展を祈念し、Young Investigator Award を授与いたします。

平成28年8月24日
日本薬学会薬理系薬学部会・部会長 南 雄文
次世代を担う創薬・医療薬理シンポジウム2016
実行委員長 多胡 雄一

2016年8月24日に仙台で開催された「次世代を担う創薬・医療薬理シンポジウム2016」において、病態生理学分野博士課程2年次生の河西翔平さんがYoung Investigator Awardを受賞しました。

演　題：アルツハイマー病治療に向けた骨髄由来細胞のミクログリア様細胞への分化誘導と機能解析
演　者：河西 翔平、高田 和幸、射手園 将真、長山 紘子、溝口 浩晃、黒田 絵莉子、戸田 侑紀、芦原 英司

■ 第14回次世代を担う若手のためのフィジカル・ファーマフォーラムにおいて若手研究者奨励賞を受賞

若手研究者奨励賞

扇田 隆司 殿

あなたは第14回次世代を担う若手のためのフィジカル・ファーマフォーラム（PPF2016）において優秀な発表を行ったと認定されました
よってこれを表彰し若手研究者奨励賞を授与します

平成28年8月28日
日本薬学会物理系薬学部会部会長
校中 淳
PPF実行委員長
吉田卓也

2016年8月27日・28日に大阪で開催された第14回次世代を担う若手のためのフィジカル・ファーマフォーラム（PPF2016）において、薬品物理化学分野の扇田隆司助教が若手研究者奨励賞を受賞しました。

演　題：細菌Ⅲ型分泌装置のエフェクター輸送機構解明のための回転-分泌相関の検討
演　者：扇田 隆司、林 直樹、福田 昂平、籾山 京子、小暮 健太朗[1]、後藤 直正、斎藤 博幸（1 徳島大学大学院医歯薬学研究部）

私の薦める、私の一冊 Column

京都薬科大学長 後藤 直正

里見清一 著『医師の一分』新潮社（2014）

侍が命をかけて守らねばならない名誉や面目を小説化した「武士の一分」（藤沢周平著）のパロディータイトル本で、著者は医師が命をかけて守るべき名誉や面目を書いている。

時刻表、運行計画ができて、すべてがうまく行くというのはありえない。国鉄民営化は新時代を生きるために、旧弊の打破、そしてパラダイムシフトをもたらした。一方で、失ったものは少なくない。インドの鉄道の遅延を笑った古い小噺に、「数時間遅れるぐらい平気な鉄道に、なぜ時刻表があるのか？」、応えて曰く「時刻表がなければ、どれだけ遅れたのか分からない」というのがあった。現在のJRでは笑えない。この原因は、経済的競争力向上のための駅員削減、つまり経済的効率に起因するような気がする。さて、このような変革を是とするか、非とするか。是としながらでも、時折、振り返ることが必要です。世の変化はスパイラルの階段。つまり、かつての問題・課題は、上昇（変革）によって量的には変わったとしても、上から見れば、輪廻転生、質的には変わらないのではないでしょうか。

医療も変わった。患者・家族の意思を問うことなく、治療方針を決定する常識を過去のことにして、患者に、家族に、決定権を与え、医師が決断を待つ医療へと変わった。しかし、方法・制度は、すべてに対して、「幸」とは限らない。著者は、かつての反省のもとに構築された現代の医療社会での不文律、習慣的建前、良識の流れに逆らい、明瞭な声で疑問を呈している。私は著者の考えがすべてに正しいとは思っていない。常識、当たり前のことを、偏狭な個人的、職業人的感情ではなく、幅広い教養をもとにした理性で問いかける著者の「問題発見」に接してほしい。またエピローグを読んでほしいことから本書を紹介した。

専門性の高い薬学や医学に長けても、社会で別の波にさらされる。薬学だけに守られた社会などなく、世を渡って行くには否応なく薬学以外の教養も要求される。